



建設技術審査証明事業(建築技術) 審査技術概要シート

建設技術審査証明事業実施機関



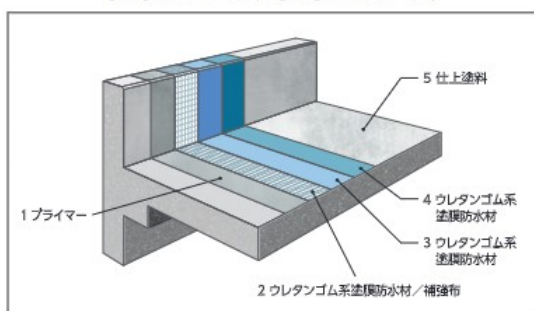
一般財団法人日本建築センター
The Building Center of Japan

〔審査証明番号／有効期限〕	BCJ-審査証明-281／2031年3月15日
〔技術の名称〕	高強度環境配慮型ウレタン塗膜防水複合法（補強布不要） 「サラセーヌ 堅鎧（タフガイ）工法」
〔依頼者（審査証明取得者）〕	AGCポリマー建材株式会社

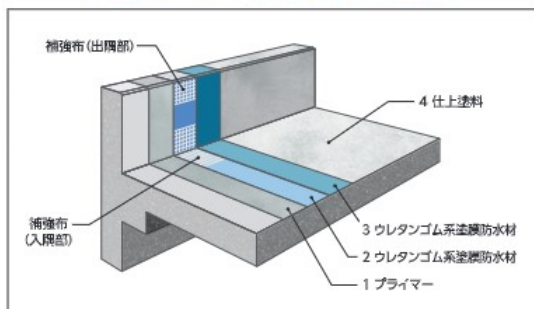
〔技術概要〕

本工法は、1層目にJIS A6021:2011「建築用塗膜防水材料」に規定されるウレタンゴム系高伸長形塗膜防水材料を、2層目にウレタンゴム系高強度形塗膜防水材料を塗布し複合させた密着仕様の防水工法である。本工法は、平場部、立上り部ともに補強布を使用することなく（出隅・入隅、下地の伸縮目地及び誘発目地、1mm以上のひび割れ、貫通パイプ回り、ドレン金物回りを除く）在来工法であるX-2工法と下地ひび割れ抵抗性において同等以上の性能を有する。また、使用する材料は労働安全衛生法にて規制される材料に相当しない、環境配慮型の材料である。

在来X-2工法・在来L4X工法



サラセーヌ堅鎧（タフガイ）工法



■平場

サラセーヌタフガイ SD-AZE30TJ

	使用材料	塗布量 (kg/m ²)	備考
1	PJ プライマー	0.2	—
2	サラセーヌ EZ	2.0	高伸長形
3	サラセーヌ AZ	1.8	高強度形
4	TJ トップ	0.2	—

■立上り

サラセーヌタフガイ SD-AZEZ 立上り 20TJ

	使用材料	塗布量 (kg/m ²)	備考
1	PJ プライマー	0.2	—
2	サラセーヌ EZ 立上り用	1.3	高伸長形
3	サラセーヌ AZ 立上り用	1.2	高強度形
4	TJ トップ	0.2	—

〔開発の趣旨〕

本工法は手塗り型のJIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形防水材料と同ウレタンゴム系高強度形防水材料との複合防水層とすることで、在来のX-2工法と同等の塗膜厚であり、かつ、補強布を使用することなく下地ひび割れ抵抗性が同等以上であり、さらに、作業工程が簡略化された工法として開発した。なお、本工法の防水層としての性能については、JASS 8 T-501における関連性能項目について、在来のX-2工法と同等以上であることを必要条件とした。

〔開発目標及び審査証明結果〕

本技術について、前記の開発の趣旨及び開発の目標に照らして審査された結果は、以下のとおりである。

- (1) JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形防水材料と同ウレタンゴム系高強度形防水材料とを複合させた補強布を使用しない密着仕様の本工法は、補強布を使用した在来工法（X-2工法）と同等以上の防水性能を有するものと判断される。
- (2) 補強布を使用しないことにより、在来工法（X-2工法）と比べて施工の省力化がなされているものと判断される。

〔本技術の問い合わせ先〕

AGCポリマー建材株式会社
防水材料事業部
TEL：03-6667-8422